

進路だより

決める力・見る 聴く 感じる力・伝える力
つながる力・やる気 元気
発行日：第2号 令和7年 11月 30日

晩秋の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。実り多き季節となりましたが、お子様の成長を日々感じながら支援を進めております。

今回の進路だよりでは、本校の小学部、中学部、高等部における進路学習の取り組みについてご紹介します。

小学部の皆さんは進路と聞いてもまだ先の話と思われるかもしれませんが。しかし私たち学校が考える「進路」は、進学や就職、事業所の利用など特定のゴールにたどり着くことだけではありません。児童、生徒一人ひとりが自分らしく充実して社会の中で生活していくための土台を築くことだと思います。その第一歩は、日々の生活の中で、好きな遊びで笑顔を見せたり、これがやりたいと伝えたり、自分のやったことで周りの人が喜んでくれることに気づいたりするところから始まります。このような一つひとつの経験が積み重なり、将来の「自律」に繋がっていきます。

この進路だよりでは、学校生活でそれぞれの学部での児童、生徒の段階に合わせた取組を紹介します。子どもたちが将来の選択肢を豊かにしていけるように、学校とご家庭と一緒にできる事を考えるきっかけになれば幸いです。児童生徒の皆さんが将来、高等部の卒業を前に進路先を選択するときに、進路先の候補としてどのようなものがあるのかを、種類別に説明いたします。

「小学部の進路に関する取り組み」

小学部では、日常生活の中での「できた！」という喜びを大切にしながら、コミュニケーションや集団でのかわりなど、生活に必要な力を少しずつ育てています。6学年では、中学部の授業に参加する「授業体験」を三学期に予定しています。実際に体験することで、進級への期待がふくらんだり、不安が少し和らいだりして、それぞれの「自信」に繋げていくことができるよう、中学部と連携しながら取り組みます。

「進路」は、切り替えではなく「つながり」であると感じています。日々の生活の中で得た経験や「今」の小さな積み重ねは、お子さんの将来に確実に繋がっていきます。ご家庭や関係機関の皆さんとの「つながり」を大切にしながら、お子さん一人ひとりの歩みに寄り添った「進路」を、一緒に考えていけたらと思います。

「中学部3年生 成長の証」

進路指導は、単に高校への進学先を決める「出口指導」に偏るのではなく、生徒たちが支援を得ながら社会の中で自分らしく過ごしていくために必要な学習を積み重ねていくことでもあります。

生徒は中学部に入学すると卒業後の将来について、考える学習機会を得ます。

卒業生のお話を聞き、高等支援学校、近隣併設校の学校説明会や見学会、ようこそ先輩などを通して、近未来への希望や不安は一層リアルに変化していきます。

「大好きなお父さん、お母さんや今の学校から離れて生活するかもしれない。」「新しい友達や環境に適応できるだろうか。」

これまでの卒業生も不安が期待を超えて、気持ちが混乱したり、感情が爆発したりしてしまうこともありました。でもこれはごく当たり前のことです。現実的な探索と暫定的な選択を繰り返すことで生徒たちの心は変化していくのです。

生徒が「変わった」と感じる時、実はそれを支援するわたしたち自身も変わったことに気づく必要があります。変わることが成長であるとしたら、わたしたち大人も良い意味で「変身」しなくてはなりません。

進路に悩み、未来を想像し、そして選択すること、それによって得られたプロセスや成果は、生徒たち本人、関わるひとたち相互の「成長の証」でもあるのです。



ようこそ先輩の様子↑

自立と社会参加に向けて ～卒業後の生活につながる力を育てる～

本校高等部では、「自立」と「社会参加」を目指して、卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けることを目標にしています。授業や行事、日々の学校生活を通して、一人ひとりが自分の力を発揮しながら、安心して人と関わる力を育てています。

進路学習では、卒業後に必要となる力を学んでいます。社会の中で人と関わる基本的な力を、卒業生に来ていただき、実際に話を聞くなどの体験的な学習を通して学んでいます。また、誰とでも自分の力を生かせるような活動にも取り組んでいます。さらに、生活体験実習では、地域の事業所での活動を体験し、「自分の好きなこと」や「やってみたいこと」を見つけたり、「難しいこと」など苦手なことを見つけたり経験を広げ、様々な人との関わりの中で普段の学習では得られない体験をしています。今後も保護者の皆様や各関係機関と密に連携し、情報共有や支援の充実に努めていきます。

以下の紹介は、特別支援学校高等部卒業後の具体的な一例を載せました。本校での過去5年間の進路状況は生活介護となっています。

【一般就職】 一般企業や特例子会社（障害者に特別な配慮をしている企業の子会社）などに就職して働くことです。基本的に自力通勤です。企業ごとに仕事の内容は異なりますが、清掃、品出し、パソコン業務など幅広くあります。作業能力と共に報告や連絡、質問ができるなどのコミュニケーション能力を求められることが多いです。

【就労移行支援事業所】 企業就労を目指す方が対象で、一定期間（2年以内）就職に必要な知識やスキル向上のための訓練や授業を行い、企業就労に向けて支援するサービスです。基本的に自力通所です。訓練のため、給料などの賃金はありません。

【就労継続支援A型事業所（雇用型）】 企業就労を希望しつつもその時点で就労が困難な方を対象に、働きながら企業就労を目指すサービスです。事業所と雇用契約を結び、給料をもらいながら生産活動などを通して企業就労に必要な訓練を行います。自力通所の所がほとんどです。

【就労継続支援B型事業所（非雇用型）】 将来的な就労を希望しつつも、その時点で就職やA型事業所が不安、困難な方を対象に、就労機会の提供及び生産活動などを通して、時間をかけて就労を目指すサービスです。事業所での生産活動などを通して知識や能力を身に付けていく所です。A型と違い、事業所と雇用契約を結ばないので給料は出ず、作業分のお金を工賃として受け取ります。（送迎を行う所が多くあります）

【生活介護事業所】 常に介護を必要とする方に対して、創作や生産活動、余暇活動を通して生活リズムをつくるサービスです。日常生活上の支援や、身体機能、生活能力の向上のために必要な援助を行います。通所により様々なサービスを提供し、生活のリズムを安定させ、障害のある方の社会参加を支援しています。

学部それぞれの特性を生かしながら児童生徒一人ひとりのニーズに合わせた進路決定ができるよう、今後ご家庭、各関係機関の皆様と努めて参ります。不明なことや質問等があれば各学部進路担当までお知らせください！